令和５年度　国語科「現代の国語」シラバス

単位数	２単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科　２年　Ａ・Ｂ・Ｃ組
教科書	高等学校標準現代の国語 （第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版） 担当者による自作プリント

１　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

２　学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを深めようとしている。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	世界を広げる	「世界は謎に満ちている」 手塚治虫	「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
5		言葉が開く世界	「言葉遣いとアイデンティティ」　中村桃子	人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
			中間考査		
		人間と文化	「水の東西」山崎正和	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	文章の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
6		書いて伝える	書き方の基礎レッスン 期末考査	表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法を理解する。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方が理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
7					

9 １０	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	現代と社会	「黄色い花束」黒柳徹子	コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	話して伝える	話し方の工夫	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	話し言葉と書き言葉の特徴、相手や目的に応じた言葉遣いを理解できたか、ノート・感想等を通して確認する。
			中間考査		
１１	・論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを深めようとしている。	現代と社会	「イースター島になぜ森がないのか」鷲谷いづみ	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	話して伝える	スピーチで自分を伝える	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	自分の意見を聞き手に伝える手法を理解できたか、発表や感想文等を通して確認する。
１２			期末考査		
1 2	・論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを深めようとしている。	社会と人間	「人はなぜ仕事をするのか」　内田樹	本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。	文章の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
3	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。		学年末考査		

3　評価の観点

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにできている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている 。

4　評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5　担当者からのメッセージ

毎時間の板書内容の書き取りを忘れない、怠らない。プリント提出及び点検があるので、それに備えておく。常用漢字テストではできるだけ得点を重ねられるよう、事前学習を確実にする。プリントや課題の提出をおろそかにしない。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。